

J-PARC ハドロンホールユーザー会 申し合わせ 2007年3月25日

1. 趣旨・目的

J-PARCハドロンホールユーザー会(英語名 Hadron-hall Users' Association)は、ハドロンホールでの実験に興味を持つ人々によって構成され、情報の提供や交換、会員相互の交流を促進するとともに、ユーザーの研究分野の相違を超えた総意を表明するボトムアップの組織であり、ハドロンホールにおいてより良い研究を推進し、その成果の発信による啓蒙活動を行うものである。

2. 会員

本会の趣旨・目的に賛同する研究者・学生(修士課程以上)は、本会に入会することができる。国籍・研究分野を問わない。退会することもできる。

会員は、本会がボトムアップの組織であることを十分認識し、意見の募集等が行われた場合には、積極的に意見表明することが期待される。

3. 会費

- ・会の運営のための通信・交通費等に用いるべく、会費を徴収する。
- ・会費は、当面以下とする。

有職者 2,000円/年、 博士課程学生 1000円/年、 修士課程学生 0円/年

4. 幹事会等(会長、副会長、幹事)

- ・幹事5名を、全会員で選挙する。
- ・5名の互選により、会長・副会長を選出する。
- ・会長は、地域・分野のバランスや役割を考慮し、最大3名まで新たに幹事を加えることができる。
- ・会長、副会長および幹事で幹事会を構成する。
- ・幹事会は、対外的に迅速な対応を必要とされる場合でも、本会がボトムアップの組織であることを十分認識し、ユーザーの総意を取りまとめて対処する。

5. 総会等

- ・総会は、会員の意見を直接交換する重要な場であり、会長の呼びかけにより、少なくとも年1回開催される。
- ・総会における議題は、前もって幹事会より会員に提示される。
- ・会員は、総会において自由に意見表明でき、議題を提案することができる。
- ・幹事会が全会員による意思決定を必要と判断する案件については、郵便等により票決する。
- ・幹事の互選により、事務局を置く。事務局は、本会への入会・退会者の管理、幹事会やシンポジウムの開催など、本会活動の事務を中心となる行方。

設立準備会メンバー

青木正治、冢入正治、今井憲一、今里 純、岩崎雅彦、延與秀人、岸本忠史、久野良孝、小松原健、齊藤直人、澤田真也、高橋俊行、田中万博、田村裕和、仲澤和馬、中野貴志、永江知文、野海博之、橋本 治、山中 卓